

「人材開発支援助成金」の活用例⑧

ガス機器メンテナンス業務現場の生産性向上を目的とした人材育成への活用

業務改善を実行し人材の確保と生産性の向上を実現した企業が、更なる生産性の向上を実現するため、企業内の人材育成に「人材開発支援助成金」を活用できる事例を紹介します。

ガス機器メンテナンス業務の現場で抱える課題

- **現場作業員の人材確保と定着及び世代交代**
安全性確保の観点より**有資格者にしか出来ない業務**が含まれ、**専門的な知識及び技術と屋外での作業も多く体力も必要**となるため、業務内容とのギャップにより**短期間で離職者**が発生。また、現場作業員の**高齢化**を踏まえた、**人員交代**も必要。
- **顧客満足度の向上**
機器の修理機会において「**素早く直し、お客さまにご不便を極力おかけしない**」ことを実現し、**顧客満足度の向上**を図ることが必要。

課題解決に向けた業務改善

- 社内の雰囲気、情報共有体制の見直しを行い、**従業員が悩みを抱え込まないように配慮**。イメージギャップの低下を図るため、**訓練や研修の機会を増加**。
- 資格費用、試験先までの交通費等の**全額補助**を行い、試験日も有給ではなく**出勤扱い**にする等、**未経験者の資格取得を積極的に支援**。
- 賃金面の見直しを行い、業績が向上した分は**報奨金や賞与等で積極的に社員に還元**。福利厚生制度等を充実させ、従業員の支援制度を改善。
- 従来のガス関連業務だけでなく、新たに**水回り修理等、サービス範囲の拡大を実施**。

人材確保と定着及び生産性の向上

- 資格取得への支援という企業風土を浸透させ、試験勉強における**精神的余裕を確保**し、一例として、従来**3割程度**の合格率だったものについて、現在**8割超**の合格率を実現。
- 社内の風通しが改善されたほか、業績が自身の賃金に反映されることにより、社員のモチベーションの維持・向上による、**定着率の向上**を実現。
- 技術面の研修のほか、クレーム対応やCS向上研修等の**人材育成に力を入れたこと**で、顧客満足度の向上及び、**生産性の向上**を実現。

人材開発支援助成金の活用方法

「人材開発支援助成金」は、事業主が従業員に対して職務に関連した訓練を実施した場合に、**訓練経費や訓練期間中の賃金の一部などを助成**しています。

上記の取り組みでは、新規採用した従業員などを対象とした、初歩的な研修のほか、資格取得に向けた研修や**新しい事業に向けた研修**を実施する場合に、助成金を活用することができます。

<助成金活用のメリット>

- **助成金を活用して人材育成を行うと、研修等の費用負担を抑えることができます。**
- **新しい事業において活躍できる人材の育成**を行うことで、スムーズな事業展開が見込めます。

